

北海道碎石だより

一般社団法人日本碎石協会北海道地方本部

札幌市中央区南1条西10丁目大通ホワイトビル ☎011-241-4579 HP ⇒



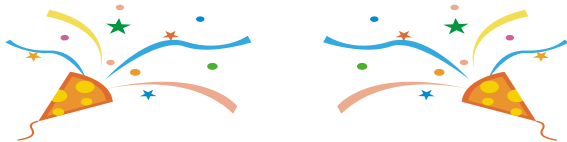
道内碎石関連各団体 通常総会 5月27日開催！

北海道地方本部の通常総会の冒頭に表彰式を執り行いました。

北海道経済産業局長表彰

優良採石功労者

佐藤 和浩 様 (江差採石工業㈱) 専務取締役



佐藤 様 北海道経済産業局長
浦田 様

北海道地方本部長表彰

業界功労者

安保 陽一 様

(ハラダ産業㈱) 執行役員上席副社長



安保 様 平沼本部長

長期勤続従事者

松本 繁夫 様 (岡本興業㈱)

佐藤 寛樹 様 (ハラダ工業㈱)

乙 信弘 様 (岡本興業㈱)



乙 様 佐藤 様 平沼本部長 松本 様

令和8年度

一般社団法人日本砕石協会

北海道地方本部通常総会

5月27日(水)令和8年度(一社)日本砕石協会北海道地方本部の通総会が、札幌東急REIホテルで開催されました。

定刻午後4時、北海道経済産業局局長の浦田様、同資源・燃料課長の五十嵐様、北海道労働局安全課主任安全専門官の星川様、北海道・経済部資源エネルギー課課長補佐の目黒様をはじめとする監督官庁の他、関連団体から多くのご来賓の方と協会員・賛助会員を含め総勢106名のもと盛会に開催しました。

平沼本部長は総会開催にあたり、「北海道経済産業局長表彰と当地方本部長表彰を受けられた皆様、改めましておめでとうございます。これまでのご活躍に敬意を表するとともに今後の益々のご健勝を祈念いたします。

さて、海外ではロシアのウクライナへの軍事侵攻が4年を超えるなか、さらには中東情勢も不透明であ



平沼本部長

り、世界情勢は緊張した状態が続いています。これらの影響を受け、国内においても原油価格の高騰など諸物価の上昇が日本経済に大きな影響を与えています。

日本経済全体としては、緩やかな回復傾向と言われる中、我々砕石業界も、こうした動きに連動して、生産性の向上や製品価格への転嫁、賃金のアップを実現し、持続可能な産業として成長してゆくことが必要です。

自然災害に目を向けると、集中豪雨による災害や、山林火災も多発しております。激甚化・頻発化する自然災害に備えとして、我々自身の備えと共に、北海道地方本部としては、災害時協定を締結している関係官公庁との連携強化を行うべく、適宜意見交換等も実施し、持続可能な協会運営に努めてまいります。

さて、本道における砕石の生産出荷量は、北海道新幹線の札幌延伸工事などの官公需はあるものの、地域の差があり、北海道地方本部会員の全体としての出荷量は、下降傾向が続き、厳しさが増しております。また、燃料・資機材や電力価格の高騰による事業コストの高止まり状態が継続しており、引き続き経営努力が求められています。

労働安全の確保については、各支部現場で積極的に安全活動に取組まれてきた結果、道内砕石業の死亡災害は令和7年まで11年連続ゼロとなっております。しかし、全国に目を向けますと、令和5年1月から2年9ヶ月続いた死亡災害ゼロが、残念ながら令和7年10月に途切れ、立て続けに3件の死亡災害が発生しました。同業者として痛恨の極みです。今一度、安全操業の原点に立ち返り、災害の撲滅に取組んでいくことが求められています。

一方、少子高齢化に伴う人手不足が深刻度を増し、多くの業種で人材確保に課題を抱えています。砕石業界として、多くの人から選ばれる業界を目指し、災害のない安全で働きやすい職場環境の整備に努めなけ

ればなりません。

砕石の安定した供給は、北海道の社会基盤整備になくてはならない基礎資材であり、厳しい経営環境下であつてもしっかりと担っていかなくてはなりません。

今年度におきましても各会員の活動を支えるべく、道本部の役割發揮に努めてまいりたいと考えております。」と挨拶されました。

総会に提案された議案は、すべて原案通り承認されました。

北海道砕石協同組合連合会

通常総会

同日午後3時、北海道中小企業団体中央会連携支援部長の牧村様をご来賓に迎え、通常総会が開催されました。

藤野会長は総会にあたり、「北海道の砕石出荷量については、北海道



藤野会長

新幹線の延伸工事や泊原発再稼働関連など、一部において需要が旺盛な地域もありますが、全道的に見れば厳しい状況が続いているところであります。

当連合会と日本砕石協会北海道地方本部の共同で作成している砕石基礎統計によると、令和4年に出荷量が500万³mを割り、2年後の令和6年は400万³mを割り、令和7年は388万³mと下降傾向が続く現状です。

これまで本道の砕石事業者は、路盤材を中心とした需要に対応しておりましたが、コンクリート向けの骨材や砕砂への需要が高まっており、各組合には、販売品目の充実や新たな販路の開拓をお願いし、当連合会としては官公庁など発注者に対して、安定供給の鍵である地産地消を粘り強く訴えて参る所存です。

一方、販売単価については、ここ数年各地域での取り組みにより段階的にアップをしてきているところですが、資機材の価格の高騰に加え、今年の中東情勢の悪化により石油関連商品の調達に苦慮されていると推察いたします。また、他の業界同様に、担い手の確保に苦勞する

など我々砕石業界を取り巻く状況は大変厳しいものがあります。

砕石類は、北海道の社会基盤整備に不可欠な基礎資材であることに矜持を持ち、我々はその責務を果たし続けられるべく、当連合会としても業界の地位向上に取り組みと同時に、販売価格上昇について、あらゆる機会をとらえて働き掛けてまいります。

本日の総会では、向こう一年間の事業計画等につきまして、新たな提案もいたします。特に、当連合会の体制強化や、砂利や建設関連産業との連携強化、また、事務局組織の合理化・近代化については、会員各位の格別なるご理解を得たうえで、日本砕石協会北海道地方本部、北海道国有林採石協会の3団体と共に鋭意取り組んで参りたいと存じます。」と挨拶されました。

総会では提案されたすべての議案が原案通り承認されました。

北海道国有林採石協会通常総会

同日午後2時、北海道森林管理局から森林整備部長の増田様を来賓に迎え常総会が開催されました。

総会の冒頭に当協会会員優良採石事業所表彰式が執り行われ、今年度は「(株)北きつね牧場」が受賞、代表取締役社長の堀川様が北海道産材の木製表彰状を受け取られました。



堀川様 藤野会長

総会開催にあたり藤野会長は、「北海道の砕石業界は、原発再稼働関係や市街地中心部の再開発など、道南・道央地域では旺盛な需要が継続しておりますが、北海道新幹線の札幌延伸は工期の大幅延長が見込まれ、また、事業コストは、燃料・資機材や電力価格の上昇による高止まりが継続しており、会員の皆様は、日々大変な努力をなされているやに推察いたします。」

本道の社会基盤整備を支える砕石事業者として、特に国有林野内で土石の採取を行う当協会員は、他の模

範となる事業運営、労働災害撲滅はもとより、自然環境に配慮した跡地緑化の確実な実施が求められております。地域住民との関係性も重要であり、様々な意思疎通を図り、万全を期さなければなりません。

当協会といたしましては、林野庁、森林管理局・署のご指導のもと、関係団体等と緊密に連携し、善良かつ、意欲と能力のある会員事業所の事業継続に資するべく、努力して参る所存です。

6月5日に開催されます全国総会に合わせて私も上京し、林野庁長官に直接お会いして要望を申し上げます。鉱山に準じる大型建設機械や巨額の生産設備を必要とする砕石事業にとつて、長期的な事業計画が不可欠です。林野庁北海道森林管理局ご当局におかれましては、国有林野内において持続的な事業継続が叶いますよう、格別なるご高配を賜りたく存じます。

会員数の減少など、協会を取り巻く諸課題にも対応しつつ、持続可能な協会運営への改革も果断に進めてまいります。」と挨拶されました。

総会では提案されたすべての議案が原案通り承認されました。

北海道砕石未来研究会通常総会

同日午後1時から、来賓に平沼本部長を迎え、会員17名の出席で総会が開催されました。

役員改選では、新会長に辻庄一郎氏が選任され、「これまで実施してきた、札幌建青会や生コン工業組合青年部など各関係団体との意見交換や道内外の見学研修は、良い学びとなっている。この流れを止めることなく、まさに未来に向かう研究会として会員一丸となって進んでいきたい。皆様のご協力をお願いします。」とあいさつしました。総会では、8年度の各関係団体との意見交流会や、砕石技術研究会での発表等、すべての議案が原案通り承認されました。

北海道砕石未来研究会

【役員改選】新役員

新 会長	辻 庄一郎
新 副会長	平沼 克剛
新 事務局長	菊地 真輔
新 事務局次長	中田 慎理
新 理事相談役	青木 勇人
新 監事	安岡 駿
〃	五十嵐 幸次
〃	菅澤 和人
〃	岸本 竜司



辻 新会長

一般社団法人 日本砕石協会

定時総会

6月4日、東京都新宿区京王プラザホテルにて北海道からは平沼本部長、藤野副本部長のほか数名が出席し、会員多数のもと（一社）日本砕石協会の定時総会が開催されました。また、各種の表彰式が開催され、道本部会員からは、経済産業省製造産業局長表彰の優良採石事業所



越智会長

岸本社長

に岸本産業(株)毘砂別砕石工場が受賞されました。
おめでとございます。

全国国有林採石協会 通常総会

令和8年度通常総会に先立ち、全国国有林採石協会の三役が、林野庁小坂長官に要望書をお渡しいたしました。



小坂長官

塚田会長

藤野副会長

総会は、東京都千代田区ホテルメトロポリタンエンドモンドにて、林野庁業務課池田企画官ほか3名のご来賓を迎え開催されました。北海道国有林採石協会から菅澤副会長と井上専務理事が出席しました。

令和8年度安全標語

安全標語が全国から応募多数の中北海道から2点が入選となりました。おめでとございます。

中学生の部 **入選**

おかしいな？
いつもと違うと感じたら
一旦止まって深呼吸

関本開発(株) 奥 愛莉

一般の部 **佳作**

毎日の

声掛け 問いかけ 心がけ
目配り 気配り ゼロ災職場

岡本興業(株) 林 ひかり

「編集後記」

今回は令和8年度の通常総会の記事です。北海道砕石未来研究会の役員が若返り、更なる発展が期待されますね。

さて、軽油引取税の課税免税措置が令和9年3月末を期限とされているため、北海道地方本部と砕石協同組合連合会は、砂利協会などと共同で当措置の延長・恒久化のための要望活動を今年7月に実施いたします。

また、9月17日は北海道砕石技術研究会、翌日18日は親睦ゴルフコンペを予定しておりますので、皆様のご参加お待ちしております。